

公開質問状

滋賀県知事 三日月 大造 様

日頃、県民の幸福と健康のためにご尽力いただいていること、心から感謝申し上げます。

さて、現在収束の糸口がまだ見えてこない新型コロナウイルスですが、1年半以上が経っており、さまざまなことがわかってきているにも関わらず、流行当初の対策が検討されないまま続いているように感じます。

すでに接種後に556名の方が亡くなっている新型コロナワクチン接種をはじめ、検討なされないまま続けられている感染症対策に「命が脅かされている」と感じざるを得ません。

「いのち」には、個人の意思、尊厳、権利も含まれます。特にその影響を受けているのは、子どもたちではないでしょうか？

未成年者の重症者・死亡者は未だに0人。

にも関わらず、この暑い中、半ば強制的にマスクをさせられ、触れ合いを絶たれ、声を上げることもすら許されていない状況です。

「子どもたちのいのちと尊厳を守る」

この観点から、以下、日頃感じていることを質問させていただきたいです。

7月15日(木)に県庁にて話し合いを持たせていただきますので、それまでに文書にてご回答をいただければ幸いです。

2021年7月8日

コロナ禍の子どものいのちと尊厳を守る会

発起人 馬場 山往 滋賀県彦根市本庄町2634
津塩 真弓
田中 陽介
沢田 匡

質問項目

《マスクについて》

- ① 感染防止効果も定かではない子どもへのマスク着用を、強制ではないと言いつつも勧めることは、憲法第13条及び子どもの権利条約に反すると思うが、どうお考えですか？

「マスクが新型コロナウイルスの感染を防ぐ」という論文は無く、子どもにとっては熱中症や酸欠による影響など、デメリットが大きい。
自分の意思でマスクの着脱の決断が出来ない子どもたちにとって、結果的に強要させているような学校の現状は、憲法第13条及び子どもの権利条約に反すると思われる。

- ② 学校でマスクを着用しないことは、公共の福祉に反しているとお考えですか？また、マスクをする・しないを本人及び家族の意向を尊重することは、公共の福祉に反していると思いますか？

マスクを推奨している理由と合わせてご回答いただきたいです。

- ③ 熱中症の危険がある季節を迎え、県としては同様の事故防止のためにどのような対策をなされましたか？

2021年2月にマスクを着けて体育をした子どもが死亡したことが5月に報道されました。その後熱中症の危険がある季節を迎え、県及び教育委員会としては、同様の事故防止のためにとられた対策をお聞かせください。

- ④ 県教育委員会から、各学校及び市町村教育委員会にどのような通達が出され、指導されているのですか？

文部科学省から出されているマニュアルを読ませていただきましたが、特にマスクを推奨している記述はなく、むしろ外すことを勧めているようにすら感じました。

しかし、現場では未だに外でもマスクをつけている子どもたちが多く見られます。

先日彦根市の教育委員会に行った際は「県の指示でしていること」と話され、県は「設置者に直接どうするか任せおている」と言われました。

保護者としては一貫性が無いと感じます。子どもたちの間でも、混乱、差別、生徒同士の取り締まりが懸念されます。結局、困るのは保護者と子ども達です。

《ワクチンについて》

- ⑤ 治験中のワクチンを自治体が積極的に勧めることは、憲法第13条に反していると思うが、どうお考えですか？

7月7日の厚生労働省発表の資料によると接種後の死亡者は556名。実際は報告されていない死亡もありそれ以上の方が亡くなっていると言われている。

新型コロナワクチンは、mRNAワクチンという遺伝子改変技術を用いた製剤であり、人類に対して今まで使用されたことが無く、短期的、中長期的なリスクも定かではなく現在も治験中です。

- ⑥ このワクチンを、子どもに打つことをどうお考えですか？

また、ご自分の子どもや孫に打たせたいと思いますか？

- ⑦ 治験や海外の死亡例や勧告を、どのように受け止めていますか？

- 1)2021年6月21日WHOの勧告で、子どもの向けのワクチン接種は試験中でもあり、より多くの証拠が必要と勧告がある。
- 2)2021年6月26日の報道では、アメリカのミシガン州で13歳の少年が接種後数日で死亡した報告がされた。その後CDC(アメリカ予防疾病センター)が「子供にとって危険であると発表している。
- 3)FDA(アメリカ食品医薬品局)の「ファクトシート」文書によると、ファイザー社の実験に参加した子供たちの86%が、軽度～重度までの副反応を報告していることが明らかになった。
- 4)VAERS(アメリカ政府のワクチン有害事象報告システム)で報告された2歳の女の子は、2月25日2回目の投与を受け、3月1日重篤な副作用で3日に死亡。

- ⑧ 子どもへ接種ありきの市町村の通知がとどきました。県としてはどのような指導をされましたか？また指導する必要性は無いとお考えですか？

先日ワクチン接種券を送付している「市」から、10代の娘に接種権が送付された。

大人と全く同じ内容で、子どもの死亡や重症者の現状や中長期的なリスクなどは、全く書かれていなかった。

自分で情報を取れない子どもたちや保護者に対して、平等な条件で選択できる機会、情報を与えているとは思えない。

県は、県民のいのちを預かっている、また県民の権利を守る立場であると考えますが、どのようにお考えでしょうか？

《PCR検査について》

- ⑨ 現在の滋賀県でのサイクル数(Ct値)は何ですか？
- ⑩ WHOはCt値35サイクル以下がのぞましいとの見解だが、滋賀県の今後のCt値の見直しを行う可能性はありますか？

マスコミの偏った報道の為、多くの人がPCR陽性＝感染者と考えている。

2020.12.02 参議院地方創生及び消費者問題に関する特別委員会 国会中継
PCR検査そのものについての信頼性について 質疑部分

質疑者 柳ヶ瀬裕文参議院議員

答弁者 佐原康之厚生労働省大臣官房危機管理医務技術総括管理官
山本博司 厚生労働省副大臣

(<https://youtu.be/uH33nqBxEag>)

上記の国会中継では、PCR検査の陽性＝感染性の証明では無いと答弁されている。

また、PCR検査はサイクル数を上げると偽陽性が増えると多くの専門家が指摘しており、WHOもCt値は35以下がのぞましいと表明している。

県によってCt値は違うとの情報もある。これについて滋賀県の見解と滋賀県の今後のCt値の見直しを行う可能性についてお答えください。